

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第11回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）地域活動支援事業（大潟区）の検証結果について

・協議事項（公開）

（1）地域協議会活動報告会について

（2）地域活性化の方向性の課題の整理について

・その他（公開）

3 開催日時

令和6年2月15日（木）午後6時30分から午後7時50分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 中会議室（2）

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐公子、金澤信夫、君波豊、佐藤忠治（会長）、新保輝松、関清、
土屋郁夫、中野幹根、俵木一松、俵木晴之（副会長）

（13名中10名出席）

・事務局：大潟区総合事務所 熊木所長、小池次長（総務・地域振興グループ長兼務）
布施教育文化グループ長、平野市民生活・福祉グループ長、風間班長、
水澤主任

8 発言の内容（要旨）

【小池次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【佐藤忠治会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：俵木一松委員に依頼

【佐藤忠治会長】

報告事項に入る。報告事項（1）地域活動支援事業（大潟区）の検証結果について、事務局から報告を行う。

【水澤主任】

資料No.1により説明。

【佐藤忠治会長】

意見、質問はあるか。

【君波豊委員】

地域活動支援事業に対する意見については、あまり回答がなかったようである。多くの事業を実施してきたまちづくり大潟からの意見が欲しかった。回答があったものでは、地域活動支援事業は良かったという評価になっている。また、おおがたスポーツクラブは地域独自の予算について、「補助率7/10は財源確保を考えると取り組みにくい。」と言っているが、他の団体も同じことが言えるのではないかと思う。今後、地域協議会としては、各団体が挑戦し、提案してもらえるように考えていく必要があると思う。

【佐藤忠治会長】

他になければ報告事項を終了する。協議事項（1）地域協議会活動報告会についてに入る。全体的な流れを事務局から、活動報告の内容については私から説明する。

【風間班長】

資料No.1により説明。

【佐藤忠治会長】

資料No.2-2、2-3により説明。

質問、意見はあるか。

【君波豊委員】

資料No.2-2に今年度の頸北地区地域協議会委員合同研修会についても載せたほうが

いい。

【佐藤忠治会長】

資料No.2－3についても活動報告会で配布したほうがいいと思うがいかがか。

【君波豊委員】

配布したほうがいい。

【土屋郁夫委員】

活動報告会にどのような方が来るか分からないが、これまでの地域協議会だよりを並べておいて閲覧してもらおうと我々の努力の成果が見えると思う。

【君波豊委員】

すでに全戸配布しているものである。

【土屋郁夫委員】

全戸配布とは別の話である。来てくれた人に4年分の地域協議会だよりを我々の活動の証拠として見てもらえばいい。

【佐藤忠治会長】

他に意見等がなければ、協議事項（2）地域活性化の方向性の課題の整理についてに入る。土屋委員から説明を願う。

【土屋郁夫委員】

資料No.3－1により説明。

【佐藤忠治会長】

全体の説明はどうするのか。

【俵木晴之副会長】

「大潟区における地域活性化の方向性」を資料として配布し、経緯などを説明する。

【土屋郁夫委員】

タイトルから確認していく。タイトルはこれでいいか。

【君波豊委員】

いいのではないか。

【土屋郁夫委員】

2として大潟区に関する情報を載せた。いろいろな方が来られることを想定して、総合計画というものがあり、大潟区は市街地、地域拠点と位置付けられていることを簡単

に示した。

【君波豊委員】

大潟区は、柿崎区、浦川原区と同様に地域拠点に指定されていることを少し紹介したほうがいい。活性化に結び付くことがあるかもしれない。

【土屋郁夫委員】

地域拠点となっていることを分かりやすく掲載する。次に3. 地域協議会の「中間まとめ」資料だが、「1) 魅力的な歴史遺産や観光資源は何？何が魅力？」として前回までに意見が出た大きな柱として、歴史遺産は北國街道、潟町宿、どんどの池や周辺の街並み、地域の宝、観光資源として眺望、湖沼を掲載してあるが意見はあるか。

【君波豊委員】

米山は含めなくていいのではないかと思う。柿崎区などは米山を入れているが、むしろ大潟区としては県立大潟水と森公園を入れたほうがいいと思う。

【土屋郁夫委員】

以前、関委員から意見があった。眺望として高台に行くといろいろ見渡せる。

【佐藤忠治会長】

頸城連山とも呼ばれる妙高の眺望もある。

【関清委員】

そういった場所は、実は何か所もあると私は思っている。皆さんがどのように感じているか、よいと思う場所を出してもらってもいいのではないか。中谷内池もいい場所である。

【俵木一松委員】

池があり、畑があり、その向こうに米山が見える。

【関清委員】

季節によって、幻想的に蒸気霧が発生することもある。

【土屋郁夫委員】

米山ではなく、山々とするか。

【佐藤忠治会長】

頸城連山としてもいい。

【土屋郁夫委員】

そこは考えようと思う。私も眺望はいいと思う。

【関清委員】

ほくほく線を前にして見る妙高の山もいい。

【君波豊委員】

大潟区について考えているのであって、そこまで広げるか。

【土屋郁夫委員】

眺望についてなのでいいと思う。例えば富士山は、どこの県から見えても眺望となる。湖沼だけでなく海も入れたほうがいい。

【君波豊委員】

眺望とするなら海も入れるべきである。

【土屋郁夫委員】

湖沼と日本海の他にはないか。

(一同無し)

次に進む。「2) 歴史遺産や観光資源の魅力発信は？どのような現状？」として、これまで出た課題を5つにまとめた。「②地域全体の魅力を作る人材が不足」があまり具体的ではない気がする。

【佐藤忠治会長】

発信はしていても見てもらっているのかどうかである。市のホームページには大潟区総合事務所のページもある。

【土屋郁夫委員】

ページはあるが情報は多くない。大潟観光協会にもホームページはある。全体がまとまっているものはなく、ぽつぽつといろいろな所にある。

【関清委員】

自然環境の豊かさの紹介の中で防風林、海、海岸線があるが、水田も美田である。地域活動支援事業を利用して郷土史友の会おおがたが「天保6年堀割御普請中日記帳」の解説文を出版した。美田と、この美田ができた背景となる新堀川開削の計画・実施の立役者である笠原文右衛門についても取り上げてほしい。

【土屋郁夫委員】

それはどちらに入るか。歴史遺産か。

【関清委員】

どこかに入らないか。功労者である。

【土屋郁夫委員】

入れるかどうかは別として記録しておく。課題としてはこれでよいか。続いて、「3) 委員からの提案」に移る。前回、カルタについての意見が出ていたので掲載してみた。活動報告会に学校の先生が来てくれるかどうか分からないが、子どもたちも郷土学習をして成果を出している。

【佐藤忠治会長】

カルタはどのように活用されているのか知りたい。小学生は必ず総合学習で郷土の学習をしている。

【土屋郁夫委員】

活動報告会の中で聞いてみてもいいと思う。カルタについてこのまま掲載しておいていいか。

【君波豊委員】

子どもたちの間では、もうカルタの時代ではないのではないか。

【土屋郁夫委員】

妙高でカルタを作ったなど、たまに話は聞く。

【君波豊委員】

長期休みでも外で子どもの姿を見かけない。各町内会には町内会館がある。かつては、夏休みの間はずっと町内会館を開放していたが、最近は誰も来ないため閉まっている状態である。そうは言っても、これは原点回帰ということではないか。

【土屋郁夫委員】

とりあえず入れたままでいく。

【君波豊委員】

そこから物語が生まれるかもしれない。

【土屋郁夫委員】

次期委員には、全国でこういうことには予算が付くといった事を調べてもらうといい

と思う。大潟区をPRしていくときに上越市の補助金だけでなく、そこを調べてもらうと非常にいいと思っている。

【佐藤忠治会長】

東北電力でもやっている。私も応募したところ、新潟から社員が来て聞き取りをしていった。結果は駄目であったが、板倉区や高田では補助金を受けた。

【土屋郁夫委員】

続いて、一緒に考えようということで意見交換の方法を掲載した。アイデア出しのルールは、ブレインストーミングという方法である。このまま入れておいてもいいか。

【君波豊委員】

いいと思う。この辺りで企業に勤めている人は、こういう経験はしていると思う。

【土屋郁夫委員】

経験しているか。

【君波豊委員】

自主管理活動は盛んにやっていると思う。

【土屋郁夫委員】

では、そのまま載せさせていただく。意見交換で出た意見をどうまとめるか。その場でパソコンには入力しにくいのでメモしていくしかないかと思う。どなたかに書記をしていただければホワイトボードに書き出すこともできる。

【佐藤忠治会長】

パソコンに入力して映し出せないのか。

【土屋郁夫委員】

出来なくはないのでそれでいくか。

【俵木晴之副会長】

土屋委員から説明してもらって、意見交換までするのにどの程度の時間を要するか。20分ほどの時間の中で、私の全体説明に5分としても数人からしか意見は聞くことができないと思う。

【佐藤忠治会長】

用紙を配って、記入してもらい帰りに提出してもらうのがいいのではないか。

【土屋郁夫委員】

アンケート用紙を配付するか。

【五十嵐公子委員】

資料の中の5. 今後についてのページに記入してもらえばいいのではないか。

【金澤信夫委員】

その場で出た意見は、パソコンに打ち込めないのか。

【土屋郁夫委員】

その場で出た意見はその場で入力して見えるようにする。

【君波豊委員】

先ほどブレインストーミングという話が出たが、本来はフリー討議をして、時間になったら自分の考えを出し合い、それをグループごとにまとめて最終的に答えに整理していくということである。しかし、20分の中ではそれはできない。参加者から意見を書いてもらうことしかできないと思う。ただ、その場で書いてもらうにしてもすぐには書けないのではないか。

【土屋郁夫委員】

「観光資源がないけれど作っていきたい」という気持ちのある人がいればいいと思う。

【君波豊委員】

思いついたことをどんどんメモしてもらうしかない。

【土屋郁夫委員】

何人が参加してくれるかによっても進行が変わってくると思う。5. 今後についてのページをアンケート用に加工したい。資料について修正するところはあまりないが、先ほど意見があった笠原文右衛門については、アイデアを頂いたが外すということか。調べだすときりがなくなると思う。

【君波豊委員】

例として載せておいたらどうか。

【関清委員】

この人の顕彰碑もある。

【土屋郁夫委員】

そうすると、地域の宝と偉人ということになるが入れておく。では、このような形で

進めさせていただく。

【佐藤忠治会長】

28区の地域協議会活動報告会がそれぞれ開催されている。ぜひ、他の区の活動報告会にも出かけていただきたい。

【俵木晴之副会長】

地域活性化の方向性の深掘りについては、活動報告会の結果をみながら3月の地域協議会でまとめたい。

【佐藤忠治会長】

その他に入る。私から提案させていただく。第5期の地域協議会委員でこれまで懇親会をしたことがなかった。3月に懇親会を開催したいと思う。15日でいかがか。

(一同了承)

後日、会場等を連絡する。他に委員から連絡等はあるか。

【君波豊委員】

液状化ハザードマップがあると聞いたがどこに行けば手に入るか。

【小池次長】

国土交通省が作成しており、ホームページで見た。

【君波豊委員】

今回、犀潟でも液状化らしい被害があった。そのため参考になる資料が欲しいと思った。聞くところによるとNHKの避難の呼びかけが強い口調であったため、大潟区から頸城区の希望館や浦川原区の体育館まで避難した人もいるという。浦川原区の体育館は屋内に入れてもらったらしいが、希望館では拒否されたとのことである。私も聞いた話であり、実際にどうであったのか定かではない。今後、避難が必要な災害が起こった場合、どこの避難所に行っても対応ができる体制づくりが必要であると思う。アンケートを取ると言っていたので、そんな内容も出てくるかもしれない。

【小池次長】

危機管理課が各町内会にアンケートを依頼している。避難所運営をした担当職員にも反省点等の聞き取りをして集約している。

【俵木晴之副会長】

防災士会の支部にもアンケートがきている。どの避難所に行っても受け入れしてもら

わなければ困る。

【君波豊委員】

当然そうである。行ったら受け入れてもらわないと困る。

【俵木晴之副会長】

その点を危機管理課や市民安全課で調整してもらいたい。

【小池次長】

液状化マップはホームページで見ることができるが、上越地域の全体的なものであり
犀潟の細かい部分までは分からない。紙で入手できるか確認しておく。

【君波豊委員】

例えば上越市内でどのような場所が液状化の被害が想定されるのかくらいは知りたい。

【小池次長】

基本的には砂丘の終わる部分が液状化の被害の可能性があるらしい。

【佐藤忠治会長】

他に連絡等がなければ次回の協議会の日程について事務局から説明願う。

【小池次長】

第12回地域協議会は、通常より1週間早いい3月21日（木）午後6時30分から
大潟コミュニティプラザ大会議室で開催する。2月29日（木）には活動報告会を開催
する。

【佐藤忠治会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線 201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。